

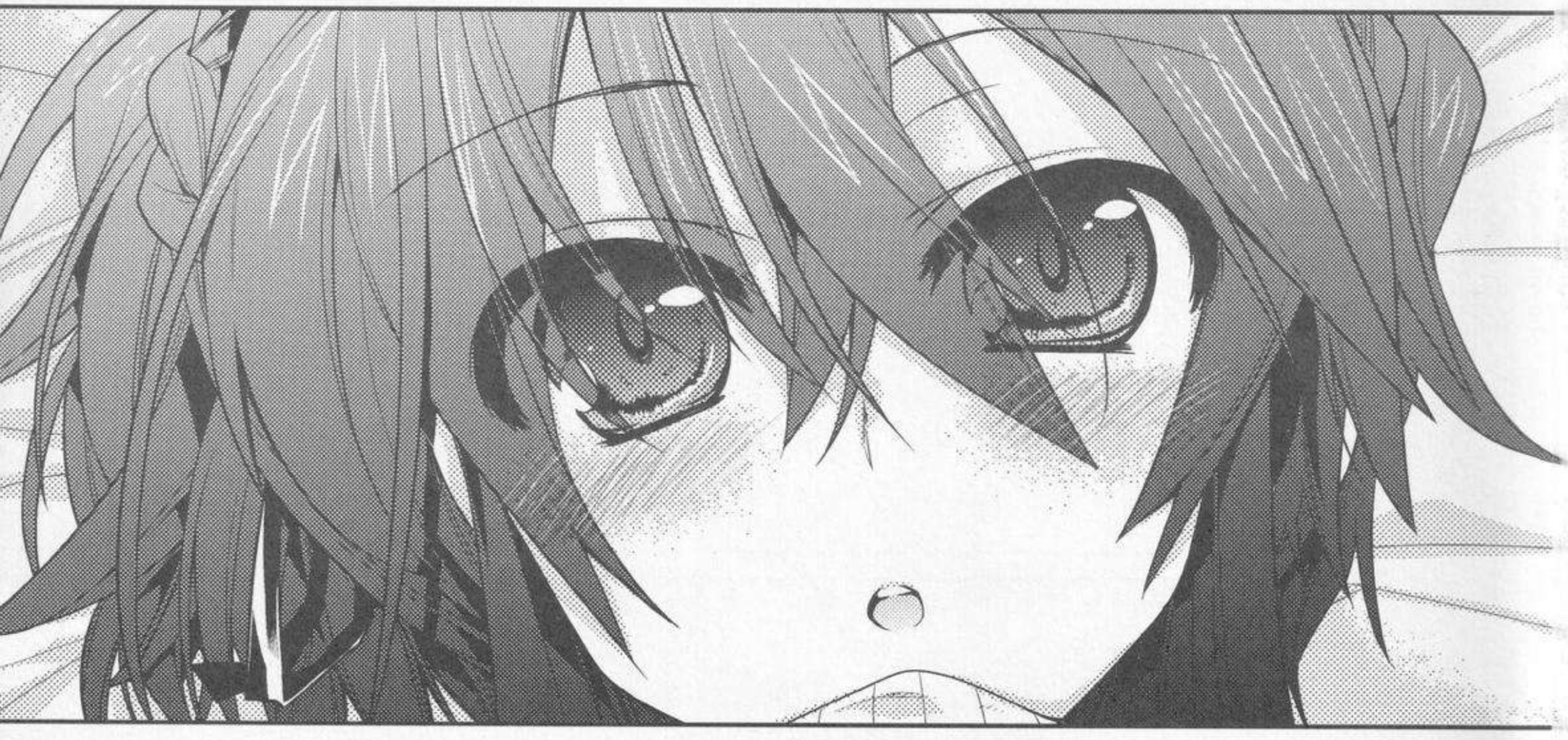
問題

ない。





先輩



プロ入り
おめでとう





どうしたの？
急に

いん..
いや.....

別に
なんでも
ない..

.....

?
聖ちゃんが
言葉を濁すなんて
珍しいね



少しだけ
不安なんだ

.....むう

そうだな

不安って？



甲子園で優勝できたのは

先輩達のおかげで

私がキャプテンになって
ちやんとチームを
引張っていきける
のか…


ちやんと
出来るのだろうか

考えたくなくても
どうしても
思ってしまう

それは
きつと

私が
弱いからだ







みずきに
心配するな
なんて大口叩いて
おいて

これじゃ
とんだお笑いぐさ
だ

私には
キャプテンの自覚も
資格も無い
：覚悟だって




ずっと先輩達に
頼ってきた
ツケが
回ってきたんだな



先輩達と
同じ学年だったら
どんなに良かったか
：なんて

最近
つくづく
そう思うよ

：うん
それは困るなあ



だって
それじゃ



聖ちゃんの「後輩属性」がなくなっちゃうじゃないか

お前つて
奴は——

!!!

うおっ



私：お前は私の話を聞いてたのか？

ええっ
違うの!?



それにして
それつて

聖ちゃんかじゃ
ダメとかじゃ
なくて

只僕らが
卒業するの
寂しいだけ
じゃない？



あ……

だから今更に入りの事言ったんじゃ無いの？

…そうか

この不安は

もうすぐみずき達や先輩との学園生活が終わる寂しさからだったのか



聖 来年プロで待ってるわよ！

最後の会長命令！

そして先輩と出会って皆で甲子園目指して夜まで練習して…
本当に毎日楽しくて楽しくて

中学でみずきと出会ってこの高校に誘われて

だから





えええつ!?

今日は中に
出してくれて
かまわないぞ?

…せんばい

ん?



いやいやなの？
大丈夫な出来れば…
そりや出来れば…
したいけど…

まあ
万が一
出来ても

その時は
私を貰って
くれるんだろ？
先輩





ひゃっ...あ

あっ先輩
少し速...っ
あああっ
はあっあっ

ん...

ごめん
止まんない...!

先輩...っ
あああっあああ

あ...

すっ
すっ
すっ

のちゆ
のちゆ

グ
グ
グ

4/27



…せんぱい



調子に乗って
プロで
浮気なんか
するなよ

いきなり
何だよ…

それと心配事が
無くなつた代わり
にひとつ
約束だ



ワス

ええっ!?

ま
せいぜい
頑張ってくれ

私に寂しい
思いなんかさせたら
きんつば百年分
だからな?

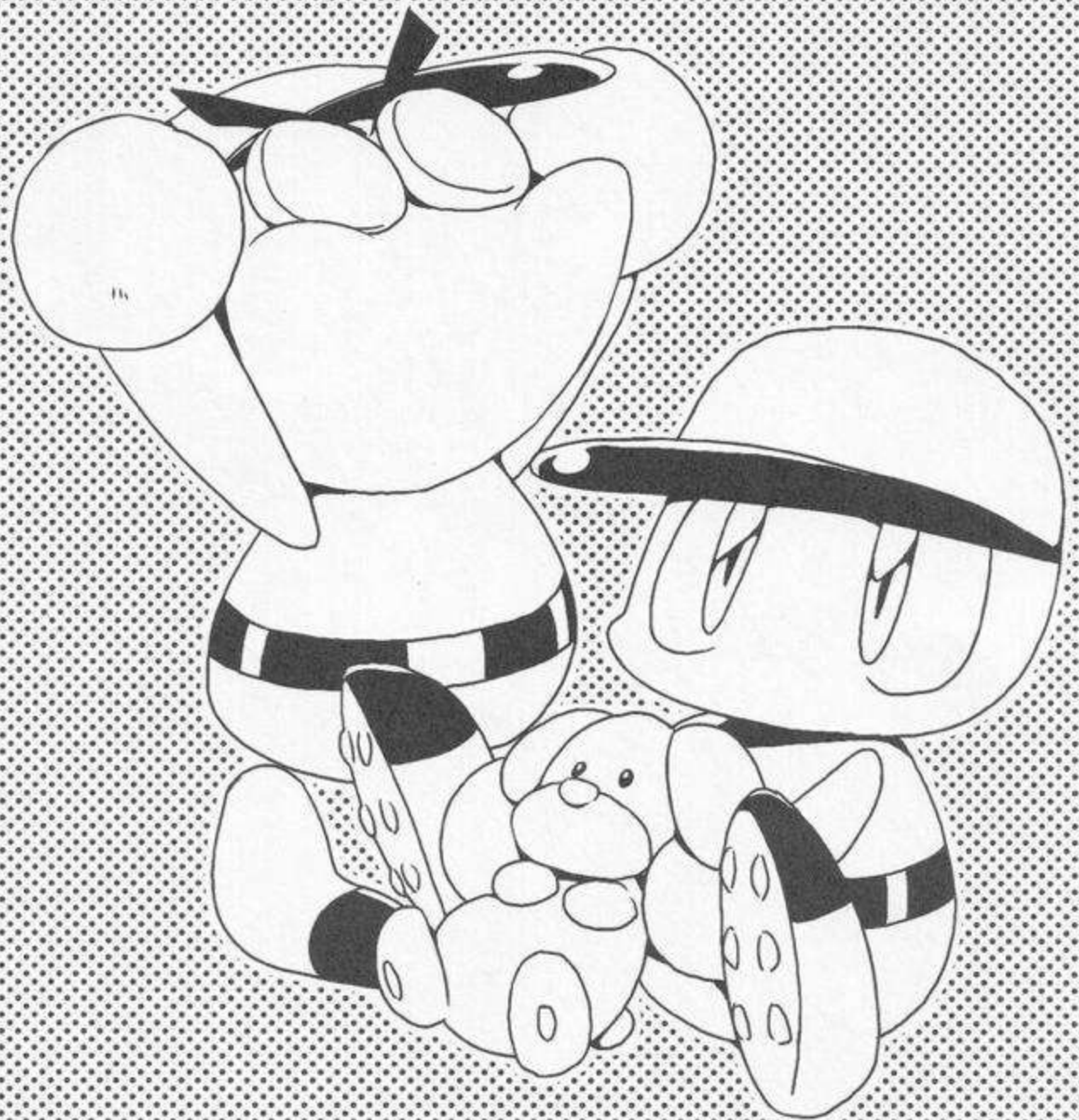
オキオビ
オモイマス…

先輩

おわり

問題ない。

NOW LOADING...





クレッセントトムーン完成のための特訓よ!



ふむ、それはわかったがなぜ縛る必要があるんだ?

ぎゅ



みずき、今から何をするんだ?

みずきちゃん 秘密特訓

かなめ 蓮

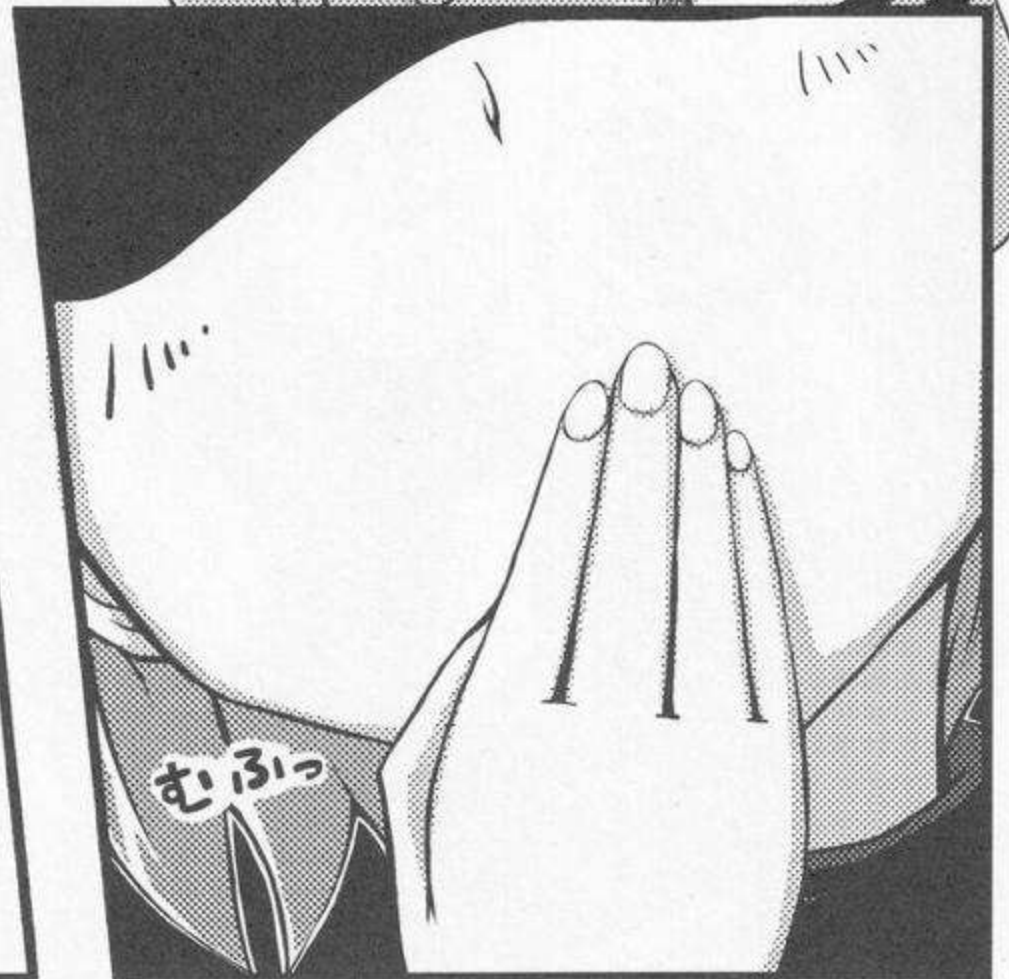


途中で逃げないようにね♡

がさごそ

がさ

ぎゅ

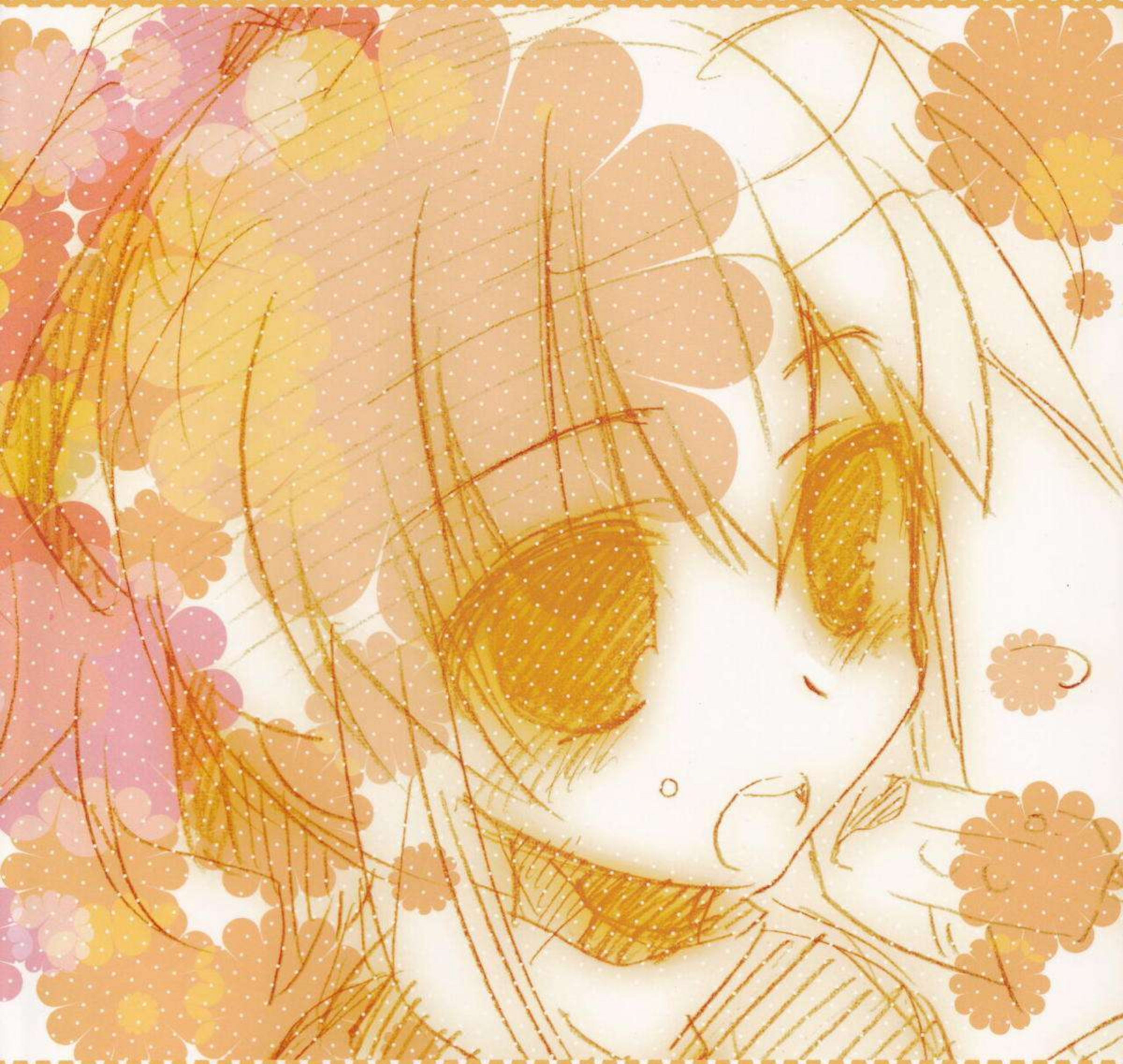


むっ





問題ない。



091231
コミックマーケット77

[ヒルスタ]